

第 24 回優秀会社史賞 入賞作品 受賞のことば

「協同一致 Glico グループ 100 年史」

この度は、伝統と栄誉ある「第 24 回 優秀会社史賞」に選出をいただき、誠にありがとうございます。

編纂委員会のメンバーをはじめ、関係者一同、大変光栄に思うと同時に、選考委員会の先生方、また、日本経営史研究所様に、心より御礼を申し上げます。

弊社は、創業者の江崎利一が牡蠣の煮汁にグリコーゲンが豊富に含まれているのを知り、人々がまだ栄養不足だった時代に、そのグリコーゲンを病気にならない体づくりに役立ててもらいたいと考え、1922 年、栄養菓子グリコを発売したことに始まります。

人々の健康を願って始まった弊社は 100 年の歴史を経て、2022 年、パーパス、つまり存在意義を「すこやかな毎日、ゆたかな人生」と決めました。このパーパスには、事業を通して生活者の「すこやかな毎日」に寄与することで、「ゆたかな人生」を成就していただくという、不変の創業の精神が込められています。

本書は、この 100 年あまりの歴史を総括した経営通史として昨年 12 月に発刊し、会社関係先や図書館などに贈呈しました。そして Glico グループ従業員や、また、幅広いステークホルダーの皆様に向けては、本年 1 月に弊社公式ホームページにおいて全ページを掲載し、誰でも、何時でも、何処でも、閲覧いただけるようにしました。さらに、より分かりやすく要約したガイド版を、日本語と英語で制作し、同時に掲載しています。

編纂にあたっては、2019 年 7 月に、弊社会長の江崎勝久が委員長となって編纂委員会を立ち上げ、「失敗の歴史を教訓にすること」を 100 年史の発刊意義として、編纂委員に任命された各部門のベテラン社員が基本方針立案や重要史実の選別を行いました。執筆の過程では、従業員・OB へのヒアリング、そして会長・社長との読み合わせを繰り返して、当初予定より 1 年遅れながらも、完成することが出来ました。

Glico グループはこれまで幾多の困難に直面し、数々の失敗を繰り返しながらも、逆境にめげず不屈邁進の精神で事業に取り組み、今日を迎えました。いただいた選評の通り、この 100 年史には、失敗したことも、問題になったことも、出来る限り記載し、将来への教訓としています。

Glico グループは、これからも全従業員が「協同一致」のもと、パーパスの実現に邁進して参ります。この 100 年史が、Glico グループの歴史や創業の精神をご理解いただく一助となれば幸甚に存じます。

最後になりますが、本書を発刊するにあたり、多くの方々のご支援・ご指導を賜りましたこと、あらためて感謝の気持ちをお伝えし、受賞の言葉といたします。ありがとうございました。

江崎グリコ株式会社

